

広島大学

令和6年度一般選抜(前期日程)・
外国人留学生選抜B日程2月実施

解答例

科目名：

国語総合・現代文B・古典B

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

第一問 解答例

問一 a 渦 b 状態 c 想像 d 繊細 e 膨大

問二 知覚や感覚は人間にとって生得的な能力であり、知覚される世界、感覚される世界は、赤ん坊でも大人とたいして変わらないこと。

問三 生まれつき眼は見えないが、手で触れば立方体と球を区別し正しく言い当てられるという人が、開眼手術を受けて眼が見えるようになったとき、立方体と球を眼で見ただけで正しく言い当てることができるかという問題。

問四 1 それは、開く提である。

2 立方体や球がそれとして見えるようになるためには、立方体や球から光の刺激を受け、それに応じて身体を動かすという経験を積む必要があるため、開眼手術を受けた直後は、眼の前に混沌が広がるだけで何も見えず、立方体や球を見ることはできないということ。

問五 開眼手術を受けた人が事物を見ることができるようになる時点は、手術直後ではなく触覚経験を含む視覚経験を積んだ後と捉えることができる。その時点であれば、触覚経験と立方体や球の触覚的な現れとのつながりを介して、立方体と球の視覚的な現れを触覚的な現れと関係づけることで、立方体と球を視覚のみから正しく認識できる可能性があるため。

問六 最初はすべてのものが上下逆さに見えるが、身体を動かす経験を積んでいくと、あるものは逆さに、あるものは正立して見えたり、混沌として見えたりする段階を経て、最終的にすべてが正立して見えるようになる。

問七 分節化

問八

交響曲の指揮者は、楽器の演奏から受ける音という刺激に応じて感覚器官を適切に動かして、新たな刺激を探り出す、ということを繰り返し出すことで、刺激の探り出しを適切に行うための感覚運動スキルを習得し、膨大な数の音の響き合いのなかから、それぞれの楽器の音を正確に区別して知覚することができるようになる。

第二問 解答例

問一 ①尊敬の助動詞「らる」の連用形活用語尾 ②形容詞「なし」の已然形活用語尾の一部 ③完了の助動詞「つ」の已然形活用語尾

問二 ア 我ながらまことに理解できない

イ どうして帰すことができようか

ウ 本心は帰すつもりはない

エ どこにでも好きなどころに行け

オ そなたもその心があれば

問三 静を都に帰すこと。(九字)

問四 精進潔斎しないと天罰が下る山だから。(十八字)

問五 契り

問六 義経のためにも、自分のためにも、この場で殺してくれ、と言っている。

問七 静は、これが義経との今生の別れだと思っているから。(二十五字)

問八 頂いた鏡を見ても全く嬉しくはない。恋しい義経様の姿が映るはずもないのだから。

第三問 解答例

問一	a	ゆゑ(え)に
	b	こたへ(え)て
	c	より

問二	ウ
----	---

問三 猶ほ朝の暮れ有るがごとし

問四 世の中のできごと・ものごとをすべては知ることができない。

問五	留	心	治	道
----	---	---	---	---

問六 天子が人(民)を、自分が無道の政治を行えば天子として認めてくれなくなるから。

問七	棄	而	不	用
----	---	---	---	---

問八 太宗は、天子が政治の得失や過失が分からなくなることと、忠正な臣下が物言わず、こびへつらう臣下が昇進することとに国の滅亡の原因があると考えたのに対し、魏徴は、天子が国の安泰の時に混乱の世を忘れてしまうことが長久しい原因であると考えている。